

当校はE S D、国際教育を言葉や文化を超えたコミュニケーション力をつけて未来を切り拓くことととらえ、異文化を体験・理解し、共生の精神を養う授業・プログラムを積極的に導入している。

週4時間、外国人教員との英会話や通常の英語の授業においても外国人教員とのチームティーチングを実施している。また、異文化の体験の場として、中学2年生2学期には校外学習にて、外国人との交流・体験を実施している。また、同じく2年生において、学習旅行を海外で行い、学校交流やホームステイを実施、異文化理解を積極的に取り入れている。



② ▼▼に係わる教育

③ $\Delta\Delta$ に係わる学習

④ ●●に係わる学習

[illegible]

① の写真（キャプション）

② の写真（キャプション）

③ の写真（キャプション）

④ の写真（キャプション）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

観光局などのホームページ、旅の指さし会話帳、各種旅行誌

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校では国際理解を深めること、国際感覚を養うことを、教育の大きな柱としている。各学年に、国際理解の時間を取り入れ、ESDの目的や意義を含んだ授業案を作成している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

各学年にネイティブスピーカーを1名ずつ配置し、また、専門の部署を設置し、現場の教員とのきめこまやかな連携につとめている。また、職員室などのスタッフルームを現場（日本人）教員と外国人教員とを同室にし、常に連携をとるように配置している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学習旅行において、学校交流を行っている学校様と、事後反省も踏まえた連携を行っている。また、本校の関連学校である、国際外語学院のスタッフとも連携をおこない、よりよい教育内容にできるよう、評価・アドバイスをいただいている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

HPなどインターネットを用いての情報発信を行っている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

本校の関連学校である、国際外語学院の留学生との文化交流を定期的に行っている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

実施なし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

校外学習や修学旅行そして、その報告会を体系的に実施することで、国際理解を深めようとする生徒自身と主体的、能動的な活動が大きくみられるようになった。また、ICTを用いての調べ学習やプレゼンテーション能力も大きく向上した。そして、何よりも、学校間交流などでのコミュニケーション能力の向上が顕著にみられるようになった。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

中学1年次より週4時間の選択授業としてネイティブスピーカーによる授業、また、外国語の授業でのティームティーチングを継続して行うとともに、中学2年生での校外学習において、国語苦人へのインタビューや折り紙を教えることを取り入れ、自国文化を海外へ広めていく活動を行う。また、シンガポールへの学習旅行を行い、シンガポールの多文化、多様性を学ぶことで、より一層の国際理解を深め、さらには、現地の研究企業や大学も訪問し、エネルギー問題への理解を深めていく。